



いきいき ふくやま

第46号

福山市シルバー人材センター会報



《月松づくし》北部事務所

二〇一七年（平成二十九年）

謹賀新年



《初日の出 ボランティア清掃》



監	監	理	理	理	理	理	理	理	理	理	理	理	理	理	常務理事	副理事長	理事長
事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事			

職	藤	高	山	林	竹	小	内	箱	菅	小	小	中	川	矢	平	來	柳	橋	浜	西	赤
員	井	橋	崎	谷	田	野	海	田	波	田	川	前	上	迫	田	山	井	本	岡	濱	澤
一		和	昭	操	清	繁		政	太		勝	智	孝	輝	春	明	清	哲	文	保	
同	功	男	孝	子	人	勝	徹	春	郎	学	行	惠	生	美	夫	彦	登	之	雄	男	收

酉



年頭のあいさつ



理事長 赤澤 収

新年あけましておめでとございます。会員の皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

平素から、皆様には、当センターの事業に対し、格別なご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、当センターが設立して三十年という節目の年で、九月には、会員や関係者のご出席をいただき、記念式典を盛大に開催することができました。また、皆様のご

年頭のあいさつ



福山市長 枝 廣 直 幹

明けましておめでとございます。

福山市シルバー人材センター会員の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

また、平素から本市政府の推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

協力により記念誌も発行することができました。この場をお借りして、会員や関係者の皆様に改めてお礼申し上げます。

さて、喫緊の課題であります会員の確保につきましては、これまでいろいろな入会促進策と会員の退会防止策に取り組んでまいりました。会員数は、昨年の十二月末現在で、昨年度の同期よりも数名少ない、一、四二四人となっております。減少に歯止めがかかったのではないかと感じております。これは、皆様に知人や友人を勧誘していただいたのも要因の一つとなっております。引き続き、会員の確保に向けて取り組んでまいり所存でありますので、皆様のご協力をお願いいたします。

また、長年の懸案事項でありました配分

さて、少子高齢化の進展に伴い労働力人口が減少する中、高齢者が健康で意欲と能力がある限り、年齢にかかわらず働き続けることができる「生涯現役社会」の実現が求められており、就業機会や社会参加の場を提供する貴センターの役割は益々重要になってくるものと考えております。

こうした中、貴センターにおかれましては、昨年、設立三十周年という節目の年を迎えられました。これもひとえに、会員の皆様方のたゆまぬ努力の賜物と、心より敬意を表する次第であります。引き続き、貴センターの基本理念である「自主・自立、

職群別事業実績

2016年度(平成28年度)

(11月30日現在)

区 分	受注件数 (件)	就業延人員 (人)	契約金額 (円)	契約金額 対前年度比
管理的職業	0	0	0	0%
専門的・技術的職業	83	83	410,284	51.4%
事務的職業	159	2,328	9,552,336	93.0%
販売の職業	1	2	5,310	53.1%
サービスの職業	200	19,060	55,034,439	101.0%
保安の職業	1	160	353,166	96.6%
農林漁業の職業	3,732	17,683	95,527,614	102.9%
生産工程の職業	375	3,149	16,568,597	96.9%
輸送・機械運転の職業	1	168	907,668	72.0%
建設・採掘の職業	105	193	1,202,227	58.1%
運搬・清掃・包装等の職業	3,800	59,854	212,019,810	99.4%
合 計	8,457	102,680	391,581,451	99.8%

金単価の改定につきましては、八年ぶりに全面的な見直しを行い、昨年十二月に開催した理事会で承認されました。本年四月一日から新配分金単価を適用してまいりますので、発注者により一層満足いただける就業内容となりますよう皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

安全就業につきましては、残念ながら、今年度十九件の事故が発生し、昨年度とほぼ同じ件数で推移しております。安全はシルバー事業の基本であり、引き続き、事故ゼロを目指して、事故防止の取組を強化してまいります。

最後になりましたが、会員の皆様には、本年もかわらぬご支援とご協力を賜りますとともに、本年も皆様にとりまして、健康で充実した一年でありますよう祈念申し上げます。年頭のあいさつとさせていただきます。

共働・共助」のもと、高齢者がその知識と経験を活かして、経済社会の重要な支え手、担い手として活躍することができるよう、就業機会や会員の拡大などに積極的に取り組んでいただくことを期待いたしております。

本市は、昨年七月に市制施行一〇〇周年という大きな節目を迎えました。今後は、次なる新しい一〇〇年の未来づくりに向け、市民の皆様とともに知恵を出し合いながら、活力と魅力に満ちた輝く都市の実現を目指し、「中心市街地の活性化と都市の魅力向上」、「希望の子育てと安心の医療・

年頭のあいさつ



福山市議会議員
小川 眞 和

皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、市議会に對しまして、格別なご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

福山市シルバー人材センターにおかれましては、高齢者への就業機会の提供、生きがいの創出や健康維持など、高齢者福祉の向上にご尽力を賜り深く感謝申し上げます。

福祉」、「活力ある産業づくりと防災」、「未来を創造する教育」、「歴史・文化・観光のまちづくり」の五つの挑戦を柱に市政運営を進めて参りたいと考えておりますので、引き続き、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、福山市シルバー人材センターの一層のご発展と会員の皆様方の益々のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。年頭のあいさついたします。



会員の皆様には、就労を通じて活力あふれる地域づくりに大いにご貢献をいただく中、多くの仕事が地域より寄せられておりますことは、市民の皆様や事業所からの高い評価の表われであり、心より敬意を表する次第であります。

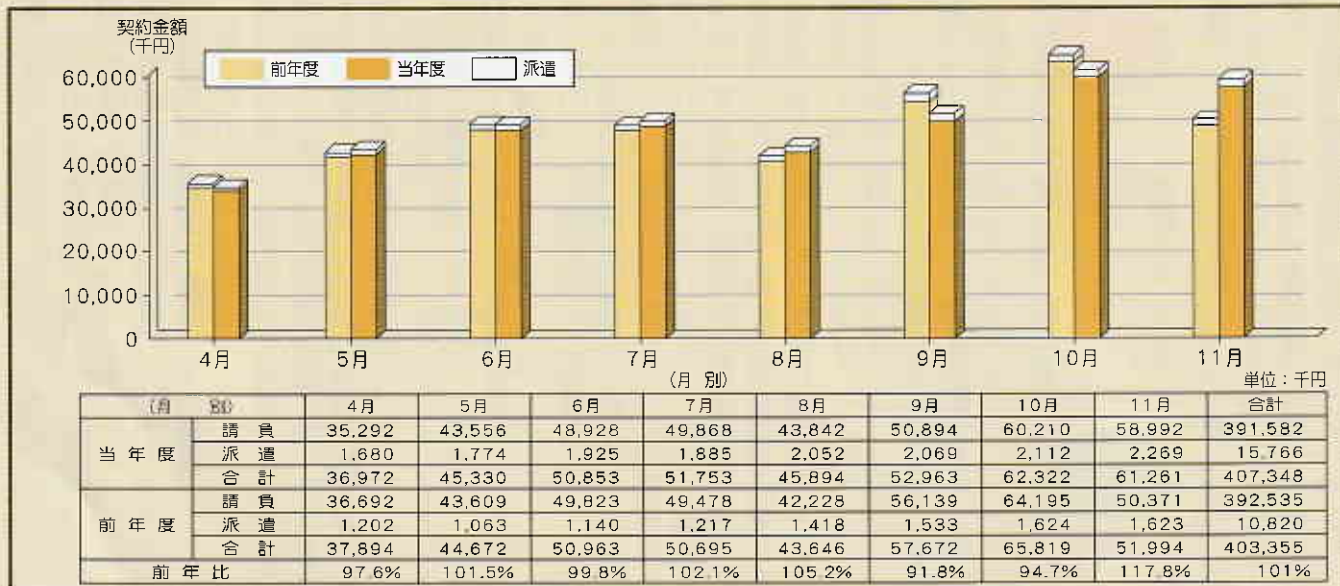
市議会といたしましても、さらなる高齢者福祉の向上と、住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを推進してまいり所存であります。貴センターにおかれましては、引き続き、会員のニーズに答えられるよう、積極的な事業の展開をお願い申し上げます。

結びに、福山市シルバー人材センターの益々のご発展と、会員の皆様のご健勝を祈念申し上げます。年頭のご挨拶いたします。

受注契約金額の推移

2016年度(平成28年度)

(11月30日現在)



高齢者の健康管理について

福山市保健所健康推進課

栄養士 意加美 典子

【楽しく食べてこそ、身体の栄養になる】

食事は楽しく食べると、心が満足し、消化吸収が良くなるといわれています。またよく「かむ」ことや献立を考えることは、脳を刺激し、認知症予防に役立つともいわれています。豊かな食生活が「長寿」の秘訣につながります。誰もが元気に暮らせるように、今日からいきいきとした生活を始めましょう。

現在の食生活をふりかえってみましょう

- 自分の体重、適正体重（理想的な体重）を知らない
- 一日に三食きちんと食べない日がある
- 主食（ごはん、パン、麺など）主菜（肉、魚、卵、豆腐など）副菜（野菜やきのこ類など）をそろえて食べないことがある
- 塩辛いものをよく食べる
- 牛乳・乳製品・小魚・大豆製品はあまり食べない
- 噛みにくい、飲み込みにくいと感ずることがある

当てる項目について、見直してみよう。



【健康管理のポイント】

- 自分の体重、適正体重を知りましょう
適正体重とは、肥満でも痩せすぎでもない最も健康的に生活できる理想的な体重をいいます。体重を測る習慣をつけ、適正体重を維持しましょう。
- 適正体重 $\text{身長(m)} \times \text{身長(m)} \times 22$
※医師の指示がある場合は、それに従って体重管理をしてください。
- 一日三食食べましょう
食事の量や回数が少なくなると、栄養状態が悪くなり、免疫力が低下してしまいます。一日三食きちんととりましょう。
- バランスの良い食事をしましょう

【理想の献立】



主食・主菜・副菜がそろった食事をとりましょう。
たんぱく質は筋肉や骨、血液など体を作る材料になります。不足すると低栄養になる可能性があります。毎食一品は食べるようにしましょう。

- 食塩のとりすぎに気をつけましょう
食塩のとり過ぎは、高血圧の原因になるため、注意が必要です。
- 【一日の食塩摂取目安量】
男性：8g未満、女性：7g未満

【食べ方の工夫】

- ①汁物は具だくさんにし、麺類の汁は飲み干さない
- ②しょうゆは「かける」ではなく「つける」
- ③塩分の多い漬物や加工品などは食べ過ぎないようにする

【調理の工夫】

- ①天然の食品でだしをとる
- ②香辛料・香味野菜を上手に使う
- ③酸味を活かす
- ④旬の食材を選ぶ

●カルシウムを積極的にとりましょう

カルシウムが不足すると、骨粗しょう症の原因となり、骨折しやすくなり、寝たきりの原因になることもあります。牛乳や乳製品、小魚、大豆製品、青菜などを積極的に食べましょう。あわせて、カルシウムの吸収率を高めるビタミンD（しらす干し、さけなど）もとりましょう。

●食事はよくかんで食べましょう

しっかりとかむことで脳への刺激になったり、食べ物が小さくなり、消化吸収を助けます。

【かみごたえのある食品】



●飲み込みにくい食品は工夫しましょう

あんかけにしたり、とろみをつけるなどしましょう。パサパサする食べ物は、水分に浸して食べるのも良いです。

交流ひろば



「元気の源・四つの楽しみ」

会員 上杉 博 俊

①仕事が楽しい
 四人の元気な仲間との仕事（一寸頭と手先を使う軽作業）で計画、実績、評価と現役時代並のフクフク感とやれる環境に感謝して楽しくやっています。

②毎日の泳ぎで身も心も爽快

年間四〇〇回以上泳ぎ、マスターズ大会へ十回出場。昨年は金メダル二十一個と県代表でねりんピック全国大会へも出場（バタフライで銀メダル二個）出来、満足な年でした。七十歳から覚えたバタフライが得意で、一〇〇m、二〇〇m、個人メドレーも含め現在六個の大会記録を持っています。私は、六十五歳から、又テレビでお馴染みの世界記録保持者、山口の長岡さん（女、一〇二歳）は八十歳から水泳を始められました。皆さんも挑



戦してみませんか。私は五年で一〇kg痩せました。

③水中ボランテアで元気を貰う

週一回YMCAのプールでデイサービスの方、引続き園児のプールボランテアをやっ、双方から元気を貰い、毎週木曜日が待ち遠しい感じです。（木曜日は不就業日になっています）

④小鳥と戯れ心安らぐ

自分の部屋でカナリヤ、文鳥等飼う童心にかえった気分です。毎日の餌やり、掃除が楽しい。手移して餌を啄む小鳥も居り、囀りだけでなく、水浴び等心癒される時間です。

皆さん、あと一つ楽しみ事を増やしてみませんか…。

「幸せとは」

会員 河村 静 江

これまでは、盲腸の手術以外の病気は、した事はなかったのですが、昨年は乳癌の手術をしました。それによって病気の苦しみ、悩み、孤独の気持ちがあるようになり、神様の「お恵み」と感じていきます。そしてその人たちのためにも祈るようになりました。憎しみ、蔑み、嫉妬は恥ずかしいことだと思えるようになりました。



人間は誰でも長所短所は持ち合わせています。人の長所を見つけ褒めることが幸せにつながる事だと思えます。相手の短所を人に話すと、いやな気持ちになり、悲しく寂しい辛い思いが心を責めます。良心の声かもしれない。

これからは「主人の心」により生きていきたいと思えます。腹のたつ嫌なことも多くありますが、おはよう。ごめんなさい。すみません。どんな時も、そう思う事が、心のおだやかにつながると感じました。いまからは意欲的に趣味のことに挑戦したいと思っています。

最後になりましたが、神の声、他人の声、自分の声、三つの声の、どの声に耳を傾けるかという事が大切ではないかと思えました。

「シルバー就業に思う」

会員 廣 川 昇

私は、定年退職して地元に戻って三年目になります。有り余る時間の使い方をいろいろ考えたが特になく、出不精なので結局、家で「□□□」。きつと夫源病の元であつただろう。昼夜逆転した時期もあつた。歳月人を待たずです。

そんな時、広報でシルバーの募集を知り、勇気を出して、一歩踏み出し公園の除草清掃を始め半年です。今は、草刈が中心だが、背の高い樹木が多く、晩秋の落葉の事を思うと今から大変だが「だから仕事があるのだ。」

と前向きに考えるようにしよう。作業中散歩している方から挨拶以上の感謝の言葉が時々ある。公園整備の意義と地域住民との繋がりの大切さを感じる。

職場の方に誘われて互助会のカラオケに参加して歌っているが、下手なので緊張する。もっと練習しよう。シニア世代の元気の秘訣は「今日行くと、今日用とか。」つまり今日、行く所があることと、今日、用事があるということ。公園の仕事とカラオケを通し老人ホームへの慰問、共に精一杯頑張って社会貢献にも励みたい。



「ふれあい同好会」

会員 小林 妙子

私たちふれあい同好会は、正副班長を中心に十人で活動をしています。

主には、神辺福祉まつり、ふれあい福祉まつりに出品する作品を自分で考え、それぞれ作ります。例えば、ブローチ、ナイロントワシ等、週一回の会合が生き生きと楽しく、有意義な時間を送っています。ふれ合いがあり、知り合いができ、つきあいがあがる。助け合うことによって前向きに過ごすことが大切ではないでしょうか。

ただ一度きりの人生だから納得するように生きたい。それには、積極的に生きることを考え、すばらしい仲間と逢えたことに感謝する思い、そんな話をしながら皆でしゃべり、「笑ってまた来週元気で逢おうネー!」そんなふれあい同好会が大好きな私です。

「道」

会員 増成 重由

今年の大相撲名古屋場所は、大盛況で終わった。観客は、連日の満員御礼、相撲内容も力あり、技ありでももしろかった。

私のひいき力士は七勝八敗と三勝十二敗、お二人ともに精彩がない、辛い場所でもあった。ひいき以外には、新しいスターが多く輩出した場所で、小さい人が大きい人を倒し、軽量が重量を負かす。技と力の勝負、大と小の戦いが、ひととき面白い場所だった。

サムライを思わせる居合抜きのような早技で、相手を倒す面白さ、スロービデオでないかと判らん。腰を低く、下から上へすくいあげような手わざ、足の踏み込み方とか、解説者の話を聞いていると、基本技が多くあるようだ。常に、自分の体は動きの正面に、相手への攻撃は横からとか、体勢についてもよく解説される。一方で、競技の周辺を飾る、呼び出しの朗々とした声や、土俵の掃き掃除の所作、行事軍配の美しいさばきと衣装、最後に、荒れた土俵を鎮める三取り。何を取っても技があり、美しい。

道というべきか。道には剣道、柔道、書道、茶道、華道、など多々あり、それぞれは、人の誠を追求する様々な世界を感じる。

今年のリオ五輪、日本の柔道が近年になく強かった。猛練習をやったのだろう、日本復活といつてよい。テレビ観戦は夜明け前なので敬遠して、ラジオで実況を聞いていると、自分の得意技をだして攻め、相手の得意技を塞ぎ防御する。拳句は相四つとか、ケンカ四つとか、まるで相撲と同じ。攻められればその呼吸でうちかえす、技の掛け合いで一瞬の防御ができていく。

各人、自分に合った技を磨き、世界に登場してくる。その頂点に立った時、光輝く。頂点に立たなくとも、一回戦で敗退しても、畳に入る時、出る時、一礼の仕草が美しい。その姿は、勝ちにも増してさらに輝く。

シルバー剪定作業にも、何か似たようなことを感じている。発注家との挨拶に始まり、伸び放題荒れ放題の庭木があると、サーヤってみると挑戦しているようだ。荒れていなくとも、庭に入って植木と対面する様は、まさに土俵に上がる感じである。戦い終り、空気を鎮める掃除、片付けは礼。呼び出しの土俵の拭き掃除、三取りの土俵の鎮静動作にも値する。剪定作業自体は、先輩諸兄の動作から学び、日々鍛錬しながら、美と技を磨き合う。各自の美観や感性で、技が磨かれる。剪定道もあるだろう、と思う。



「健康に感謝し充実の就業」

会員 中島 徳一

私は運搬班を卒業、一定の不就業期間を経て、現在、仲富池桜公園の公共業務の就業に励んでおります。八十歳を過ぎ、男性の平均寿命となり、一般社会では、就業の機会も閉ざされがちです。幸いシルバー人材センターは、心身共に健在で、働く意欲が有る限り、就業の機会を与えて頂ける、有難い組織です。私が就業している現場は、名称の通り、池が有り、亀や魚や飛来してくる水鳥が住んでおります。池の廻りは、石垣で囲まれ、割目から、草や木が生えて、見た目が良くありません。石垣の草や木を取り除いて綺麗にしようと思いましたが、公園内の就業範囲から外れているため、除草作業は出来ません。

私は、石垣の手入れをしたいと思い、独断で竹さおの先端に、お好み焼きで使用するヘラを取り付けた道具を作製しました。公園の就業日には、早めに現場に行き、石垣の上部の手すりに安全帯を取り付け、危険予知をしたら道具を使い、朝の作業ミーティングが始まるまで除草作業を行っています。ボランティアの精神で安全第一を心掛け、楽しくしております。

毎朝犬を連れて公園を訪れるご夫婦が、石垣が綺麗になり池が蘇ったようだと言ってくれます。私がコッコ



ツやってきた努力は、無駄ではなかったと、確信しています。

公園の清掃だけと思えば知恵も工夫も湧かないが、公共の場所で就業出来る意義を確認し、現状を見直し、公園を訪れる人達の休憩・癒しの場所になるよう一緒に就業している仲間と共に、地域に寄り添うシルバーの貢献を共有していきたいと思えます。

北部ブロック新市地域班の
年次総会が一月九日開かれる

新市地域班は、会員互助の連帯意識と親睦を基調に発足し八年目を迎えました。

会員数は四十八名で世話人は次の通り。

- 上安井 松本 実(班長)
- 新市 茂原 裕 葉丸 林 明
- 相方 高橋 桂造 宮内 九門 弘人
- 戸手 村田 俊弘 下安井 日野 園三
- 戸手 平田 春夫

総会には、事務局長と北部事務所長が出席され、新入会員の増強と退会者の抑制について会員の協力を呼び掛けられました。

その後、千葉英彦会員の乾杯の発声で懇親会となり、終始和やかなうちにお開きとなりました。



「写真・檀家回り」

会員 河村 静江



配分金に対する所得税について

会員が、シルバー人材センターから「請負・委任」により提供された仕事に就業して得た収入を配分金といいます。この配分金収入は、所得税法上「その他の雑所得」に該当し、確定申告が必要となります。

また、租税特別措置法第27条の規定に準じて、必要経費控除が認められています。

(収入が配分金のみの場合)

$$(配分金 - 必要経費控除 65万円 - 基礎控除 38万円 - その他の控除) \times 適用税率 = 所得税額$$

(収入が配分金と公的年金等の場合)

$$[(配分金 - 必要経費控除 65万円) + (公的年金等 - 公的年金等控除額) - (基礎控除 38万円 + その他の所得控除)] \times 適用税率 = 所得税額$$

◎詳しくは、税務署にお尋ねください。

設立三十周年記念式典



設立三十周年記念式典を九月二十五日(日) ぶくやま芸術文化ホール(リーディングローズ)において、午後一時三〇分より開催いたしました。
来賓として次の六名の方々にご出席いただき盛大に式典を行いました。

- | | |
|--------------------|--------|
| 福山市長 | 枝廣 直幹様 |
| 広島県商工労働局長 | 寄谷 純治様 |
| 広島県議会議長 | 宇田 伸様 |
| 福山市議会議長 | 小川 眞和様 |
| 広島県シルバー人材センター連合会会長 | 滝澤 宏二様 |
| 福山市商工会議所副会頭 | 藤井 基博様 |

式典後、映像とナレーションで三十年の歩を上映し、その後、記念講演で、中島誠之助さんの「目きぎの人生談義」をご講演いただきました。

表彰状贈呈

設立30周年記念式典にあたり、シルバー人材センター事業の発展に寄与された方々に、表彰状と記念品を贈りました。

表彰を受けられたのは、次の方々です。(五十音順・敬称略)

役員の一部 (6年以上)

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 新井 米勝 | 有安 敬子 | 石井 耕二 | 岩井 賢誠 | 新谷 盛登 |
| 田口 律子 | 出原 直人 | 中島 徳一 | 中元 紀克 | 西浜 保男 |
| 平田 春夫 | 藤井 重勝 | 矢迫 輝美 | (13名) | |

会員の部 (20年以上)

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|------|
| 河村 静江 | 桑田 敬子 | 新谷 盛登 | 松浦 隆子 | (4名) |
|-------|-------|-------|-------|------|

会員の部 (15年以上)

- | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 赤尾 信子 | 浅井 洋子 | 有川 明 | 粟根 道治 | 石井 都義 | 石原 静子 | 一ノ瀬和磨 |
| 井口 勝恵 | 猪股忠二郎 | 岩井 賢誠 | 岩崎 慶治 | 宇田 廣國 | 宇都宮英彦 | 馬屋原光重 |
| 占部 清子 | 大迫 清司 | 岡田 資子 | 岡野 範三 | 小田 学 | 蔭下 守 | 加治木道則 |
| 勝部喜美子 | 金尾 泰範 | 來山 白江 | 木村比佐子 | 黒川 清子 | 小出 月枝 | 小鼓 勇三 |
| 小寺 利雄 | 小林 妙子 | 小林 正 | 小林 時夫 | 近藤 良子 | 坂本 正信 | 茂原 裕 |
| 白神 容子 | 新良貴幸子 | 砂岡 朝士 | 園田 文字 | 高賀 順子 | 高橋 桂造 | 田口 律子 |
| 竹井 愛子 | 竹井 和弘 | 竹中 信恵 | 田辺 政章 | 田辺ミサヲ | 檀上 節子 | 塚原 禎子 |
| 塚本 隆英 | 佃 昇 | 露木 守 | 出原 直人 | 寺澤 秋男 | 土井 満子 | 徳田 薫 |
| 長坂久仁子 | 中重 富子 | 中島 徳一 | 中前智恵子 | 中前 義明 | 名合 博志 | 箱田 秋子 |
| 箱田 義己 | 橋本 尚 | 羽田 広雄 | 早川 幸之 | 林 弘吉 | 林 幸弘 | 林田日出雄 |
| 原田 和子 | 樋口 保 | 平賀 繁 | 平田 春夫 | 平松 和代 | | |
| 平見 文一 | 廣江 富子 | 深井 羽洋 | 藤内 勝 | 藤田紀美子 | | |
| 藤田 敏郎 | 藤原 春美 | 細井 隆雄 | 細羽 利道 | 前原 哲二 | | |
| 増成 隆之 | 松井 豊子 | 松井 博嗣 | 松岡 則宏 | 松本 隆雄 | | |
| 三島 義久 | 三吉 都 | 村田 俊弘 | 森 耕次郎 | 母里 義之 | | |
| 谷隈 康孝 | 矢野 国昭 | 山本 正治 | 弓場 正司 | 吉浦見戸代 | | |
| 吉澤 孝 | 和田 幸重 | | | | | |



事業報告



通常理事会の開催状況

次の事項について慎重に協議が行われ、審議についてはいずれも可決承認されました。

◎十月十二日(木)

報告事項

- ①正会員入会者の報告について
- ②職務執行状況の報告について
- ③事業報告について
- ④設立三十周年記念事業について
- ⑤正会員会費の納入状況について
- ⑥未入金回収状況について

◎十二月二十日(火)

審議事項

- ①二〇一六年度(平成二十八年度) 収支補正予算(案)について
 - ②配分金見積り基準等の改正について
- 報告事項
- ①正会員入会者の報告について
 - ②設立三十周年記念事業収支決算について

各種委員会の開催状況

◇理事会専門委員会
 総務委員会 十二月 九日(金)

総務委員会では、配分金見積り基準等の改定について協議しました。

◇安全委員会

- 九月 十三日(火)
- 十月 十一日(火)
- 十一月 八日(火)
- 一月 十一日(水)

安全委員会では、就業現場や事故発生現場などの安全パトロールを実施して、安全管理体制や、事故の分析と事故防止対策などを協議しました。

◇会報編集委員会

- 十二月 十三日(火)
- 一月 十一日(水)

会報編集委員会では、「いきいきぶくやま」第四十六号の発行について協議しました。

設立三十周年記念事業

◇設立三十周年記念事業実行委員会

広報部会

- 九月 八日(木)
- 八月 九日(火)
- 十月 七日(金)

式典の実施内容や式典当日の役割分担、記念誌の掲載内容や掲載写真の検討など協議し、九月に設立三十周年記念式典を開催、十月に設立三十周年記念誌「光輝」を発刊しました。

皆様から写真提供など、ご協力をいただきました。うございませう。



事務局だより

事務局だよりには、会員の皆様への大切なお知らせ等が掲載されておりますので、必ずお読みください。

会員確保について(お願い)

センター事業を持続的に運営するうえで会員の確保はその根幹をなすものです。会員の入会促進には、会員の皆様のご協力が必要です。知人・友人など周囲の方に声を掛けていただき、会員の勧誘にご協力をお願いいたします。なお、入会説明会の日程は次のとおりです。開始時間は午後一時三〇分からです。

二月二十三日(木)	本部・北部事務所
三月 三日(金)	西部市民センター
三月 七日(火)	北部市民センター
三月 八日(水)	東部市民センター
三月 十七日(金)	エフピコR1M7階
三月二十三日(木)	本部
四月二十七日(木)	本部・北部事務所

・入会に必要なもの
 証明写真二枚(免許証件)、印鑑、振込先のわかるもの、年会費二、四〇〇円

正会員会費未納の方へ

会費未納の方には、至急納入いただきますようお願いいたします。

就業相談の案内について

未就業の方は就業相談をご利用ください。就業の連絡がない方や、就業希望の変更などの相談を受けています。

毎月第四木曜日の午前中に行っています。日程が合わない方は、ご遠慮なく事務局へ電話又は直接来所ください。

※予め電話いただければ担当者が対応いたします。

公共業務での

就業会員の募集について

公平公正な就業機会の提供の観点から、今年度も、公共業務について、公募による就業会員の募集を行います。

詳細については、別添の「募集案内」に掲載しておりますので、希望者は内容をご確認のうえ、お申込みください。



応募者多数の場合は、未就業期間、会費納入状況、就業相談状況、年齢、就業場所等を勘案して就業会員を決定します。

また、結果については、応募者全員に三月中旬を目途に通知します。

自己申告書の提出について

交代制の対象となる公共業務で就業する会員の内、今年度末(三月三十一日)で満了となる方については、すでに「自己申告書」を送付していますので、記入のうえ、必ず提出してください。



配分金支払証明書

二〇一六年(平成二十八年)一月から十二月までの間にセンターから会員の皆さんにお支払いしました配分金の支払証明書を送付いたします。

配分金は、税法上『雑所得』として扱われますので、確定申告や、市・県民税の申告をされる場合にご利用ください。

「平成二十八年分 所得税確定申告書」の受付期間は二月十六日(木)～三月十五日(水)までです。

所得税の還付を受けるための申告は、一月から提出することができます。

配分金明細書について

経費節減の一環として、配分金明細書を概ね二か月毎に送付しています。

今年も引き続き、同様の取組を行いますので、明細書が必要な方は、配分金支払日以降に事務局(本部・北部)でお渡しします。今後六か月の配分金支払日は次のとおりです。

一月分	二月二十七日(月)
二月分	三月二十七日(月)
三月分	四月二十五日(火)
四月分	五月二十五日(木)
五月分	六月二十六日(月)
六月分	七月二十五日(火)

会員経験交流旅行の実施について

今年度も、会員の皆様にセンターでの経験交流を目的に、実施いたします。

詳細は、同封の案内をご参照いただき、多くの参加申込みをお待ちしております。

会報編集委員会

委員長	矢迫 輝美
委員	小田 学
	田口 徹
	河村 静江
	菅波 太郎
	林 操子

編集後記

あけましておめでとございます。今回も、皆様のご投稿で会報誌を発行することが出来ました。編集委員会では、親しみやすく、より充実した会報誌になるよう努めてまいりたいと思っておりますので、ご支援ご協力をお願いいたします。今年も皆様健康で幸せな年となりますよう祈念いたします。

発行/公益社団法人福山市シルバー人材センター

【本部】福山市新涯町二丁目21番30号
TEL (084)953-5222 FAX (084)953-5233

【北部事務所】福山市神辺町大字川北1349番地
TEL (084)963-9555 FAX (084)963-9556

メールアドレス fukuyama@sjc.ne.jp

URL http://www.sjc.ne.jp/fukuyama/

編集/会報編集委員会

会員数(12月末現在)

男 979人 女 445人 計 1,424人